



市政この一年

今年も残すところあと1カ月。皆さんにとって平成30年はどんな年でしたか。今回の特集では、鹿児島市の1年を写真とともに振り返ります。



5月20日の「第21回渋谷・鹿児島おはら祭」では、「西郷どん賞」が設けられ、東京・渋谷の街をたくさんの西郷さんが踊り歩きました。



1月13日、加治屋町に「西郷どん 大河ドラマ館」がオープン。閉館が来年1月14日に迫っています。ぜひお越しください。

平成30年(2018年)は、1868年の明治維新から150年という記念すべき年。大河ドラマ『西郷どん』の放送もあり、明治維新や西郷さんにちなんだ催しがめじろ押しでした。

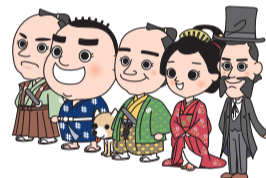
明治維新150周年に沸く



150年前の10月23日、明治への改元の詔勅しよくちよくが出されました。約400人もの提灯行列ちとうちんが中央公園から大河ドラマ館まで歩き、この日をお祝いしました。



9月14日、大河ドラマ館は2度目の一部リニューアル。実際に撮影で使用された衣装が追加されたほか新たなフォトスポットも設けられ、さらに楽しめるようになっています。



4月7日～8日、「薩摩維新ふるさと博」を初めて春にも開催。



10月27日～11月4日、加治屋町で「薩摩維新ふるさと博2018」を開催。維新ふるさと館に映し出した大規模なプロジェクションマッピングが大好評でした。



鹿児島市PR動画「維新dancin' 鹿児島市」で見事な踊りを披露している鹿児島実業高校男子新体操部。錦江湾潮風フェスタやおはら祭など、さまざまなステージでも人気を博しました。

おはら祭も熱く盛り上がりました



「西郷どん賞」、「大久保賞」、「篤姫賞」を決める西郷どんコンテストを開催しました。
※1面(表紙)もご覧ください



11月3日、「第67回おはら祭」では、大河ドラマ『西郷どん』出演者の鈴木亮平さん、瑛太さん、田上晃吉さんの姿を一目見ようと市内外から多くの人が押し寄せました。